

令和5年度 家庭の情報モラル推進部会の取組について (案)

1 目的

仙台市学校教育情報化推進計画 基本方針1

児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成

(1) - ③ 学校・家庭・地域における情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進

1人1台端末を活用し、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度や、デジタル社会に参画する能力の育成を目指し、家庭や地域においても理解を深めることができるようにする。

- (1) 授業参観と懇談会で活用できる実践プランの作成
- (2) 授業参観による授業実践
- (3) 懇談会による保護者の意見交流
- (4) 周知資料の作成

2 取組の概要 年度内に4回程度の推進部会を開催し、次の事項についての検討及び作業を行う。

(1) 授業参観と懇談会で活用できる実践プランの作成

<授業実践プラン>

授業実践プラン作成の3つのポイント

- ① 子供たち同士の話し合いを中心に授業を展開する。
- ② 「自分だったら」をキーワードに、子供たちが自分事として捉えられるようにする。
- ③ 子供たちが授業について保護者に話せるようにし、保護者も一緒に考え学べるようにする。

授業実践プランの題材 (例)

デジタルのつながり	小学校下学年
社会に対する責任	小学校上学年
ゲームにおけるコミュニケーション	小学校上学年
メディア利用とメディアバランス	中学校・高校
自分のプライバシーの守り方	中学校・高校
ヘイトスピーチとの向き合い方	中学校・高校

※(資料)坂本旬他7名「デジタル・シティズンシップ+～やってみよう！創ろう！善きデジタル市民への学び～」より

授業実践プランの概略 (例)

『ネットいじめについて考えよう』(小学校上学年)	
ねらい：事例を基に、デジタルを活用するための知識や行動規範を養う。	
導	・ネットいじめの定義について理解する。「ネットいじめとは何だろうか。」
展 開	・ネットいじめの事例を基に、それぞれの立場になって考える。 「その人たちはどのように思っているのだろうか。」「自分だったらどう思うだろうか。」
終	・自分の行動指針を作る。「自分だったらどのように行動するだろうか。」
☆	※ワークシートを持ち帰り、保護者も一緒に考える。「家庭で取り組みそうなことは何だろうか。」

＜懇談会実践プラン＞

1分	あいさつ
10分	子供たちの様子（画像などを見せる）
5分	授業や行事について
25分	<p>ワークショップ</p> <p>テーマ「これから先、子供がスマホやインターネットをうまく活用するためにはどのようにしたらよいでしょうか。」</p> <p>① 映像資料を見て事例内容を知る。</p> <p>② 事例を基に主人公の問題点を書き出す。</p> <p>③ 主人公の問題点を基に、家庭で取り組めそうなことを付箋に書き出す。</p> <p>④ 書き出した付箋をワークシートに貼る。</p> <p>・最も重要なこと（1枚） ・次に重要なこと（1、2枚） ・その次に重要なこと（1、2枚）</p> <p>⑤ 保護者による意見交流</p>
4分	連絡事項

（2）授業参観による授業実践

- ・抽出校を選定する。
- ・実践授業の様子を記録し、児童生徒の振り返りをデータ化し、集約する。

（3）懇談会による保護者の意見交流

- ・保護者の意見をデータ化し、集約する。

（4）周知資料の作成

- ・実践プランや集約したデータ等をWeb ページに掲載する。

※仙台市PTAフェスティバル等でのPRも考えられる。

3 スケジュール（見通し）

